

NC SNS/デザイン教育（映像コンテンツ）の先駆的アクティブラーニングの研究ほか



デザイン・建築



Keywords

アニメーション、映像、科学、アクティブラーニング



栗原 康行 教授

所属

芸術工学研究科 情報環境デザイン領域

専門分野

映像制作、映像の歴史研究

所属学会

日本映像学会、日本映画テレビ技術協会

HP

<http://www.sda.nagoya-cu.ac.jp/ykurihar/home/>



研究概要

映像コンテンツ（デザイン）教育を考えると、単に映像技術や編集の巧緻を教え、あるいは学ぶことだけでは充分とは言えません。本研究室は「社会に現存する様々な問題」をテーマとする映像コンテンツを協働でリサーチ/制作/上映活動を行って来ました。これら社会性の有るデザイン教育を考えると、その制作過程において最も効果的に（専門的知識習得および人間形成的側面において）教育成果を期待できるものであることが実証されつつあるようです。

業績

これまで「性同一性障害」「インナーチャイルド/アダルトチルドレン」「車椅子生活を強いられたことによる社会生活の破綻」などの社会問題を主題とし、研究成果は東映から教育用コンテンツとして広く頒布されるに至り、またその活動は数々の新聞やラジオ、テレビで活動を紹介され、また内外から高く評価され、また地域貢献し社会に問題提起してきました。

今後の展望

「SNS動画コンテンツへの取り組み」「グローバルなデザイン教育の広がり」と「世界的な視野でのコンテンツのメッセージ性」を検証していきたいと思えます。

また、各企業や自治体や提携校ほかとのコネクションを活かして一層のアジアや欧米での撮影や作品発表などしていきたいと思えます。



写真1：素描（Rough sketch）
2020年 映像研究室作品



写真2：研究室作品は内外の30以上の映画祭で入選他

問い合わせ

産学官共創イノベーションセンター
（桜山キャンパス本部棟2階/事務局学術課内）
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地
（名古屋市営地下鉄桜通線「桜山」駅③出口すぐ）
☎ 052-853-8309 FAX 052-841-0261
✉ ncu-innovation@sec.nagoya-cu.ac.jp



研究者からのメッセージ

様々な分野の方々と、これまでチャレンジしたことがないような新規性のあるコンテンツ制作の協働制作や、より先駆的な教育手法等について考えていきたいと思えます。